日本における中国考古学関係文献目録（1997 年）

山本忠尚・小田木治太郎・今井晃樹

1.本目録は，　1997 年 1 月から 12 月までの間に，日本国内で刊行・発表された中国考古学に関する文献を集成したものである。
2.集成の対象は中国考古学に関するものが主であるが，ほかに東洋史学・美術史学のもので比較的関係すると思われるものも含めた。
3.「単行本・図録など」（単独刊行物）と「論文・翻訳・評論など」（掲載物）の，2 項目に大別して収録している。
4.各項目内の文献データは著者名による 50 音順を原則とする。
5.文献データ収集にあたっては，『史学雑誌』・『東洋史研究』の目録を参考にしたほか，多くの方々の協力・教示を得た。

〈単行本・図録など〉

●相田洋『異人と市　境界の中国古代史』研文選書 70，研文出版。
●愛知県陶磁資料館学芸課・松岡美術館『松岡美術館名品展－東洋陶磁の精華－』，愛知県陶磁資料館。
●東潮『高句麗考古学研究』，吉川弘文館。
●アンソニー･ブリアリー著・土居満寿美訳『古代中国』ニュートンムック古代遺跡シリーズ，ニュートンプレス。
●出光美術館『出光美術館研究紀要』3。
●出光美術館『地下宮殿の遺宝－中国河北省定州北宋塔基出土文物展－』。
●伊藤道治ほか『覇者への道　晋の文侯，呉王夫差・越王句践，秦の始皇帝』中国の群雄 1，尾崎秀樹・陳舜臣編集，講談社。
●今井敦『中国の陶磁』4 青磁，平凡社。
●上田正昭『東アジアと海上の道』，明石書店。
●江上波夫･池内紀編『江上波夫の蒙古高原横断記－池内紀の小さな図書館－』，五月書房。
●王維坤『中日の古代都城と文物交流の研究』，朋友書店。
●大鎌淳正『古銭語事典』，国書刊行会。
●大阪市立東洋陶磁美術館『耀州窯－中国中原に華ひらいた名窯－』。
●大塚初重・白石太一郎・西谷正・町田章編『考古学による日本歴史』10 対外交渉,雄山閣。
●岡一彦編『中国古代遺跡が語る稲作の起源』，八坂書房。
●岡村秀典『青銅器の図象記号による殷後期社会の研究』平成 7 年度～平成 8 年度科学研究費補助金基盤研究（C）研究成果報告書。

●金関恕先生の古稀をお祝いする会編『宗教と考古学』，勉誠社。
●鎌田茂雄『秘められた仏たち　中国の仏教遺跡を訪ねて』，中外日報社。
●倉田芳郎先生古稀記念会編『生産の考古学』，同成社。
●侯廬外著・太田幸男・岡田功・飯尾秀幸訳『中国古代社会史論』，名著刊行会。
●小南一郎『画像資料を中心とした神仙思想の研究』平成 7 年度～平成 8 年度科学研究費補助金（基礎研究 C）成果報告書。
●坂詰秀一『太平洋戦争と考古学』，吉川弘文館。
●島根県並河萬里写真財団『季刊文化遺産』４。
●ジャパン通信情報センター『月刊文化財発掘出土情報』172～184。
●ジャパン通信情報センター『最新海外考古学事情』Ⅱアジア編（『月刊文化財発掘出土情報』185)。
●泉屋博古館『泉屋博古館紀要』13。
●大修館書店『しにか』8-2 (特集　万里の長城－民族興亡の歴史を追う－)。
●大修館書店『しにか』8-6（特集　失われた文字の世界－発見から解読まで－)。
●龍田考古会『先史学・考古学論究』Ⅱ，熊本大学文学部考古学研究室創設 25 周年記念論文集。
●中国古代史研究会編『中国古代史研究』7，研文出版。
●天理大学附属天理参考館『中国古代の武器』天理ギャラリー第 107 回展。
●東京国立博物館『大草原の騎馬民族－中国北方の青銅器－』。
●東京大学『精神のエクスペディシオン』東京大学コレクションⅣ　学問の過去・現在・未来第二部，東京大学出版会。
●礪波護・武田幸男『隋唐帝国と古代朝鮮』世界の歴史 6，中央公論社。
●中川美術館『秦の始皇帝　銅車馬展』。
●西嶋定生『秦漢帝国：中国古代帝国の興亡』講談社学術文庫 1273。
●西谷正編『東アジアにおける支石墓の総合的研究』基盤研究（C）成果報告。
●日本中国考古学会『日本中国考古学会会報』7。
●日本放送協会『故宮博物院ビジュアル年表』故宮博物院：特別付録。
●長谷部楽爾・弓場知紀『故宮博物院』6 宋・元の陶磁。
●樋口隆康『食器』，泉屋博古館。
●福井県立博物館『中国浙江省の文物展－波濤をこえた文化交流－』。
●藤田勝久『史記戦国史料の研究』，東京大学出版会。
●藤本強編『住の考古学』，同成社。
●“文明のクロスロード・ふくおか”地域文化フォーラム実行委員会編『福岡からアジアへ』５　長江にみる弥生の源流，西日本新聞社。
●勉誠社『黄土高原とオルドス－中国西北路寧夏･陝北調査記－』(『日中文化研究』別冊 3)。
●堀敏一『中国古代の身分制　良と賤』，汲古書院。

●町田章『古墳時代の装身具』日本の美術 371,至文堂。
●マルセル・グラネ著・明神洋訳『中国古代の舞踊と伝説』，せりか書房。
●ＭＩＨＯ MUSEUM 『MIHO MUSEUM 南館図録』。
●百瀬明穂・中野徹編『世界美術大全集』東洋編 4 隋唐，小学館。
●早稲田大学シルクロード調査センター『シルクロード国際研究集会発表要旨集』。

〈論文・翻訳・評論など〉
●秋山進午「東北アジア初期青銅器をめぐる幾つかの問題」『朝鮮学報』162,　P. 1～20。
●秋山進午「内蒙古“岱海”での発掘調査－平成 7 年度国際学術研究報告－」『大手前女子大学論集』30,　P. 61～103。
●秋山進午「内蒙古“岱海”における発掘調査－平成 8 年度国際共同研究簡報－」『日本中国考古学会会報』7,　P. 137。
●浅見直一郎「中国南北朝時代の随葬衣物疏に見える副葬品について」『京都橘女子大学研究紀要』23,　P. 40～50。
●阿辻哲次「『説文解字』と金石学」『泉屋博古館紀要』13,　P. 63～74。
●穴沢咏光「中国後李春秋車馬坑」『考古学研究』44-2,　P. 80～82。
●荒川正晴「出土史料より見た高昌国の仏教」『季刊文化遺産』4,　P. 55～58。
●荒川正晴「唐代トゥルファン高昌城周辺の水利開発と非漢人住民」『移動と地域開発』, P.49～65。
●荒川正晴「ヤールホト古墓群から新たに出土した墓表・墓誌」『シルクロード国際研究集会発表要旨集』，p. 14～19。
●飯島武次「西周時代の晋の遺跡」『東海史学』31,　P. 1～25。
●飯島武次「近年の中国における商周時代の遺跡調査－晋侯墓地の調査ほか－」『最新海外考古学事情』Ⅱアジア編（『月刊文化財発掘出土情報』185),　P. 40～46。
●飯島武次「東下馮遺跡殷代窯洞式住居祉」『住の考古学』，　P. 170～185。
●飯島武次「西周時代都城遺跡の問題点」『生産の考古学』。
●石井仁「長城をめぐる攻防（2）魏晋南北朝～隋唐」『しにか』8-2,　P. 37～42。
●石松日奈子「北魏河南の一光三尊像」『東方学報』69,　P. 247～286。
●市来弘志「統万城の戦略的位置について」『黄土高原とオルドス－中国西北路寧夏・映北調査記－』(『日中文化研究』別冊 3),　P. 117～129。
●伊藤玄三「潮海時代の銙帯金具」『法政大学文学部紀要』42,　P. 113～148。
●井上豪「トユク石窟探訪」『季刊文化遺産』4,　P. 64～65。
●今井晃樹「良渚文化の地域間関係」『日本中国考古学会会報』7,　P. 77～105。
●今村啓爾［東南アジア考古学における銅鼓研究の役割］『考古学雑誌』82-4,　P. 93～108。
●岩松浅夫「黄文弼『塔里木盆地考古記』所掲の一梵文断簡について」『創価大学人文論集』9。

●上田秀夫「日本出土の耀州窯系青磁」『耀州窯－中国中原に華ひらいた名窯－』,　P. 169～179。
●宇佐美文理「六朝芸術論における気の問題」『東方学報』69,　P. 205～245。
●梅原郁「万里の長城とはなにか－中国史の中の長城－」『しにか』8-2,　P. 12～24。
●江坂輝彌「東シナ海を還る古代文化－東シナ海を還る中国華南沿岸部，朝鮮半島西南部海岸，西九州地方との古代文化の交流－」『考古学ジャーナル』424,　P. 2～3。
●江村治樹「消えた漢字・文字－秦の始皇帝の文字統一以前の文字－」『しにか』8-6,　P. 12～17。
●エルフト・アルス（王志浩）著・三宅俊彦訳「オルドスにおける択抜鮮卑の遺物」『博古研究』13,　P. 43～48。
●王岩「近年における隋・唐洛陽城の考古学的研究の成果」『東アジアの古代文化』93,　P. 60～74。
●王建新［中国の皇帝陵と日本の天皇陵］『季刊考古学』58,　P. 74～78。
●王子今著・古川原伸恵訳「古代西北地域の交通と長城」『黄土高原とオルドス－中国西北路寧夏・陝北調査記－』(『日中文化研究』別冊 3),　P. 147～158。
●王小慶「中国新石器時代の集落」『文化』61-1･2,　P.115～135。
●王世平著・村松弘一訳「中国西北路調査の収穫と成果」『黄土高原とオルドス－中国西北路寧夏・陝北調査記－』(『日中文化研究』別冊 3),　P. 30～42。
●王珍仁・孫慧珍著・木田知生訳「旅順博物館所蔵の新疆文物」『東洋史苑』48･49,　P. 55～78。
●王炳華「吐魯番交河溝西墓の調査について」『季刊文化遺産』4,　P. 16。
●王妙発「吉林省先史集落の地理学的研究」『和歌山大学経済学部研究年報』1,　P. 19～62。
●王妙発著・堀野真司訳「古代西北の歴史地理」『黄土高原とオルドス－中国西北路寧夏・陝北調査記－』(『日中文化研究』別冊 3),　P. 130～146。
●近江昌司「緑釉鳳凰九枝燈」『天理参考館報』10,　P. 97～103。
●大内文雄「宝山霊泉寺石窟塔銘の研究－隋唐時代の宝山霊泉寺－」『東方学報』69,　P. 287～355。
●大川裕子「戦国秦の領域と蜀徙民－上郡・北地・関中との比較を通じて－」『黄土高原とオルドス－中国西北路寧夏・陝北調査記－』(『日中文化研究』別冊 3),　P. 171～186。
●大伴公馬「中国古代ガラス考」『日本文化史研究』26,　P. 33～44。
●大橋一章「シルクロードと日本仏教美術」『季刊考古学』61,　P. 24～28。
●大貫静夫「中国における土器型式の研究史」『考古学雑誌』82-4,　P. 109～124。179。
●大貫静夫「北方系青銅刀子」『考古学による日本歴史』10 対外交渉,　P. 137～140。
●大貫静夫「『中国文物地図集－河南分冊－』を読む－嵩山をめぐる遺跡群の動態－］『住

の考古学』,　p. 139～154。
●大貫静夫「原田淑人と東洋考古学」『精神のエクスペディシオン』,　P. 73～83。
●大橋一章「西域の仏教美術」『季刊文化遺産』4,　P. 41～45。
●大橋一章「トルファン石窟群（トユク石窟を中心に)」『シルクロード国際研究集会発表要旨集』, P. 10～13。
●大山教男「東洋陶磁史から眺めた松岡美術館コレクション」『松岡美術館名品展－東洋陶磁の精華－』,　P. 6～8。
●岡田建「山東歴城黄石崖造像」『美術研究』366,　P. 27～47。
●岡内三眞「北方草原と南海との接点－トルファンオアシス－」『季刊考古学』61,　P. 33～37。
●岡内三眞「シルクロードに“夢”を掘る」『季刊文化遺産』4,　P. 26～33。
●岡内三眞「東アジアの交流＜陶磁器をめぐって＞」『古代交通研究』6,　P. 118～125。
●岡内三眞「東アジアの陶磁器交流」『東アジアの古代文化』92,　P. 109～116。
●岡内三眞「トルファン・ヤールホト古墳群の調査と研究」『史観』137,　P. 81～97。
●岡内三眞「ヤールホト古墳群新発見の遺構と遺物」『シルクロード国際研究集会発表要旨集』,　P. 20～24。
●岡村秀典「戦国楚文化を掘る」『福岡からアジアへ』5,　P. 26～47。
●岡村秀典「長江中流域における城郭集落の形成」『日本中国考古学会会報』7,　P. 24～40。
●岡村秀典「戦国楚墓と出土漆器の共同研究」『日本中国考古学会会報』7,　P. 138～139。
●岡村秀典・張緒球編「湖北陰湘城遺址研究（Ｉ）－一九九五年日中聯合考古発掘報告－」『東方学報』69,　P. 510～459。
●小川誠「山東龍山文化の城墻に関する一試論」『駒沢女子大学紀要』4,　P. 25～37。
●小川誠「山東竜山文化の素面鬲」『古代文化』49-4,　P. 26～33。
●屋山洋・久住猛雄・加藤泰也「中国湖北省遺跡見聞録」『福岡からアジアへ』5, P. 64～81。
●小澤正人「1995 年度の日本考古学界（中国)」『日本考古学年報』48(1995 年度版),　P. 56～59。
●小澤正人「四川省成都市新律県宝墩遺跡の調査」『日本中国考古学会会報』7, P. 135～136。
●小田義久「吐魯番出土随葬衣物疏の一考察」『龍谷史壇』108,　P. 1～22。
●小田義久「吐魯番出土の随葬衣物疏にみえる五道大神について」『東洋史苑』48･49,　P. 10～30。
●小田義久「旅順博物館所蔵の西域出土文物について」『龍谷大学論集』449,　P. 161～179。
●小田木治太郎「天理参考館所蔵の青銅中空柄短剣」『天理参考館報』10,　P. 81～84。
●小田木治太郎「中国北方“青銅文化”の墓－戦国時代前後の内蒙古中南部および寧夏周辺－」『宗教と考古学』,　P. 437～471。
●郭素新・田広金著・小田木治太郎訳「北方民族青銅文化の起源と発展－そのはるかなる

流れ－」『古文化談叢』37,　P. 177～219。
●影山剛「王莽の貨布と貨泉について」『中国古代史』,　P. 143～164。
●加藤真二「近年の中国における旧石器時代の遺跡調査」『最新海外考古学事情』Ⅱアジア編（『月刊文化財発掘出土情報』185),　P. 25～32。
●門田誠一「高句麗壁画古墳の角抵図について－日本の基層文化理解の前提作業として－」『鷹陵史学』22,　P. 1～31。
●金沢陽「定州の仏塔と塔基地宮発掘の成果」『地下宮殿の遺宝－中国河北省定州北宋塔基出土文物展－』,　P. 25～37。
●金沢陽「宋・元沈船搭載陶磁器についての若干の考察」『青山考古』14,　P. 43～54。
●黄川田修「斉魯以前の山東」『明大アジア史論集』1,　P. 83～88。
●木下尚子「東アジアにおける風習的抜歯の基礎的研究」『先史学・考古学論究』Ⅱ, P. 481～530。
●百済康義ほか「大谷探検隊収集西域文化資料とその関連資料」『仏教文化研究所紀要』35, P. 41～109。
●蔵本泰慶「「楚」の墓は語る」『福岡からアジアへ』5,　P. 82～93。
●五井直弘「中国古代の人々の生活」『専修人文論集』60,　P. 85～136。
●五井直弘［中国製鉄史序説一中国前近代を抹殺したもの一］『専修史学』28。
●黄暁芥「漢墓と漢墓研究」『古代文化』49-7,　P. 1～19。
●黄暁芥「秦漢時代の発掘調査トピックス」『最新海外考古学事情』Ⅱアジア編（『月刊文化財発掘出土情報』185),　P. 47～56。
●高蒙河「良渚文化の居住形態に関する研究」『住の考古学』,　P. 126～138。
●甲元真之「黄渤海沿岸地域の先史時代漁労文化」『先史学・考古学論究』Ⅱ, P. 419～456。
●甲元真之「西周初期燕國の形成」『熊本大学「地域」研究』Ⅱ東アジアの文化構造,　p. 35～56。
●小嶋茂稔「1996 年の歴史学会－回顧と展望－（戦国・秦漢）」『史学雑誌』106-5,　P. 199～205。
●小嶋茂稔「讀江陵張家出土『奏讞書』笥記」『アジア・アフリカ歴史社会研究』2,　P. 1～28。
●小嶋芳孝「中国吉林省和竜県西古城周辺の航空写真－斉藤優コレクション調査報告－（1)」『古代学研究』138,　P.1～21.
●小嶋芳孝「近年の渤海遺跡の調査から」『最新海外考古学事情』Ⅱアジア編（『月刊文化財発掘出土情報』185),　P. 18～24。
●後藤健「トルコ石にみる東西交流」『季刊文化遺産』4,　P. 62～63。
●小林聡「1996 年の歴史学会－回顧と展望－（魏晋南北朝）」『史学雑誌』106-5, P. 205～212。
●小林聡「魏晋南朝時代の帯剣・簪筆に関する規定について－梁の武帝による着用規定の

改変を中心にー」『埼玉大学紀要』教育学部（人文・社会科学)46-l 第 3 分冊,　P. 73～85.
●小南一郎「神亭壺に見る仏教受容の一様相」『東方学論集』東方学会創設 50 周年記念,　P. 585～597。
●小南一郎「石鼓文製作の時代背景」『東洋史研究』56-1,　P. 1～32。
●小柳美樹「日中共同による良渚文化研究一浙江省桐郷市遺跡発掘調査の紹介ー」［考古学ジャーナル］424,　P. 16～22。
●小柳美樹「“中国先史稲作”30 項」『日本中国考古学会会報』7,　P. 17～23。
●小柳美樹「石犁・破土器・耘田器」『日本中国考古学会会報』7,　P. 106～123。
●佐川正敏「近年の中国における新石器時代の新発見ー土器と農耕の起源から初期都市の萌芽までー」『最新海外考古学事情』Ⅱアジア編（『月刊文化財発掘出土情報』185),　P. 33～39。
●櫻井清彦「シルクロードの遺跡を掘る」『季刊文化遺産』4,　P. 17～19.
●佐々木正治「山西省右玉県出土の鉄刃銅鏟」『たたら研究』38。
●佐々波智子「書評ジョン・キング・フェアバンク著『中国の歴史ー古代から現代まで』」『しにか』8-2,　P. 112～113。
●佐藤洋一郎「ジャポニカの原産地と日本への伝播経路」『考古学ジャーナル』424,　P. 9～15。
●柴田昇「1996 年の歴史学会ー回顧と展望ー（殷・周・春秋)」『史学雑誌』106-5,　P. 193～199。
●柴田幹夫「孫文と大谷光瑞」『孫文研究』21,　P. 1～14。
●謝偉著・高島敏夫役「陝西扶風県案板遺迹の灰土中に見える農作物ー灰像方の改良ー」『西伯』3,　P. 42～56。
●車廣錦「良渚文化における古城古国について」『博古研究』13,　P. 25～30。
●朱延平「新楽・趙宝溝集落の考察」『住の考古学』, P. 111～125。
●朱岩石「近年の中国における魏晋南北朝考古学の調査成果」『最新海外考古学事情』Ⅱアジア編（『月刊文化財発掘出土情報』185),　P. 57～64。
●朱岩石「シルクロードで出土した中国製品の特徴」『シルクロード国際研究集会発表要旨集』,　P.31～35。
●宿白著・蘇哲・金沢陽訳「定州の工芸と静志寺・浄衆院両塔地宮文物」『地下宮殿の遺宝ー中国河北省定州北宋塔基出土文物展ー』,　P. 9～24。
●徐光輝「星星哨石棺墓群再検討ー西団山文化の編年のためにー」『国際文化研究』1,　P. 53～68，龍谷大学。
●徐光輝「渤海の仏教遺跡について」『仏教史学研究』40-1,　P. 1～21。
●新蔵正道「公開土王碑文永楽六年状に関する考察」『ヒストリア』155,　P. 74～84。
●鄒厚本「中国江南地区における土墩墓の再認識」『福岡からアジアへ』5,　P. 172～193。
●末崎真澄「大草原の馬と騎馬文化」『大草原の騎馬民族ー中国北方の青銅器ー』,　P.150

～154。
●末次信行「殷墟における有功者の墓（下）」『金蘭短期大学研究誌』28,　P. 81～290。
●鈴木敦「甲骨文字における“文字域”の設定－『甲骨文編』の検討を通じて－」『茨城大学人文学部紀要』（コミュニケーション学科論集)1,　p. 219～231。
●鈴木敦「『甲骨文編』札記」『茨城大学人文学部紀要』(コミュニケーション学科論集)2,　P. 115～136。
●鈴木正弘「“潤州上元県福興寺碑”について」『アジア史論集』　P.113-124。
●妹尾達彦「隋唐洛陽城の官人居住地」『東洋文化研究所紀要』第 133 冊,　P. 67～111。
●薛東星「瓷苑明珠－耀州窯－」『耀州窯－中国中原に華ひらいた名窯－』,　P. 6～7。
●相馬秀廣「衛星画像からみたトルファン盆地」『季刊文化遺産』4,　P. 21～22。
●高木晃「“中国良渚文化国際シンポジウム”に参加して」『日本中国考古学会会報』7,　P. 126～129。
●高橋学而「遼南京（燕京）析津府の平面プランについて」『古文化談叢』37,　P. 131～171。
●高浜秀「中国北方の青銅器」『大草原の騎馬民族－中国北方の青銅器－』,　P. 140～149。
●高浜秀「江上波夫の内蒙古における調査とオルドス青銅器研究」『精神のエクスペディシオン』,　P. 84～89。
●高浜秀・後藤健・谷豊信「今なぜ型式学か－編集をおえて－」『考古学雑誌』82-4,　P. 140～150。
●高浜侑子［漢時代に見られる鴟鴞形容器について］『中國古代史研究』,　P. 123～141, 研文出版。
●竹内康浩「ヨーロッパの殷周青銅器コレクションについての最新情報」（書評：艾蘭・李学勤『欧州所蔵中国青銅器遺珠』)『東方』199,　P. 33～37
●田崎博之「農具からみた長江下流域の農耕文化と弥生文化」『福岡からアジアへ』5,　P. 94～117。
●田代克己「青銅製鍍金剣鞘飾金具について」『日本文化史研究』26,　P. 85～93。
●巽善信「角杯に見られる西方の影響－リュトン東方伝播試論－」『宗教と考古学』,　P. 473～492。
●田中俊明「高句麗の長城」『しにか』8-2,　P. 68～71。

●谷一尚「寧夏固原原州遺跡の発掘調査」『日本中国考古学会会報』7,　P. 140～142。
●谷一尚「中国・北周と唐の壁画墓」『季刊考古学』61,　P. 29～32。
●谷一尚「原州遺跡出土の東ローマ金貨」『共立国際文化』12,　P. 1～12。
●田村晃一・大貫静夫・小嶋芳孝・足立拓郎・ボロディン V.　Ｉ.・イブリェフＡ.　Ｌ.・ニキーナン G.　Y.・レスチェンコ N.　V.・ゲルマン E.　Ｉ.「ロシア沿海州における渤海時代遺跡の調査概報（1)」『青山考古』14,　P. 87～98。

●千葉基次「古式の遼寧式銅剣」『生産の考古学』。
●張懋鎔著・陳力訳・松田真一校訳「陝西省涇陽県高家堡青銅器研究」『泉屋博古館紀要』13,　91-110。
●張忠培著・稲畑耕一郎訳「中国古代文明の形成に関するノート」『史観』136,　P. 71～79。
●陳国慶「黄河流域新石器時代城址浅析」『西南学院大学国際文化論集』11-2,　P. 45～53。
●陳有貝・今村佳子・黄建秋・俵寛司・陳洪・濱名弘二「日本における中国考古学関係文献目録(1996 年)」『日本中国考古学会会報』7,　P. 143～153。
●辻尾榮一「遼東半島黄海沿岸の古代刳舟の起源について」『郵政考古紀要』24 冊。
●鶴間和幸「秦長城の建設とその歴史的意義」『学習院史学』35,　P. 45～70。
●鄭洪春・穆海亭著・高島敏夫訳「鎬京西周五号大型宮室基址初探」『西伯』2,　P. 50～74。
●出川哲朗「中国陶磁史における耀州窯の位置」『耀州窯－中国中原に華ひらいた名窯－』,P. 142～151。
●手島一真「唐“金仙長公主墓誌”小考」『アジア史論集』,　P. 97～112。
●杜葆仁「耀州窯と伝世の東窯器」『耀州窯－中国中原に華ひらいた名窯－』,　P.152～155。
●滕銘予「東周時代の秦文化の発展と拡大」『博古研究』14,　P. 26～41。
●冨谷至「長城はいかにして築かれたか」『しにか』8-2,　P. 25～30。
●長沢和俊「シルクロードとトルファン」『季刊文化遺産』4,　P. 4～15。
●長澤和俊「シルクロードの総合調査」『シルクロード国際研究集会発表要旨集』, P. 1～6。
●中村慎一「中国における囲壁集落の出現」『考古学研究』44-2,　P. 58～73。
●中村慎一「石家河遺跡をめぐる諸問題」『日本中国考古学会会報』7,　P. 41～55。
●中村慎一「石家河遺跡と中国都市文明の起源」『住の考古学』,　P. 155～169。
●成家徹郎「陝西省鎬京出土原始文字」『西伯』3,　P. 57～67。
●西川利文「漢代における郡県の構造について－尹湾漢墓簡牘を手がかりとして－」『仏教大学文学部論集』81,　P. 1～18。
●西谷正「高句麗王陵コンプレックス」『史淵』134,　P. 109～136。
●西谷大「中国東南沿岸部の新石器時代」『国立歴史民俗博物館研究報告』70,　P. 1～58。
●西谷大「前漢初期の象牙犀角と献上動物」『先史学・考古学論究』Ⅱ, P. 531～552。
●二宮忠司・力武卓治「長江流域学術調査」『福岡からアジアへ』5,　P. 146～171。
●日本晋安橋発掘調査隊「浙江省桐郷市晋安橋遺跡 1996 年の発掘調査」『日本中国考古学会会報』7,　P. 130～134。
●野村恵子「耀州窯陶磁にみる文様」『耀州窯－中国中原に華ひらいた名窯－』, p. 156～161。
●蓮池利隆「新疆ニヤ遺跡出土の仏教文献について (2)」『印度学仏教学研究』45-2,　P. 860～856。
●長谷川道隆「後漢・蜀漢期の銅揺銭樹と陶樹座－西王母像から仏像へ－」『古文化談叢』

38,　P. 153～182。
●林俊雄「ヤールホトの“王冠”」『季刊文化遺産』4,　P. 38～40。
●林俊雄「遊牧国家に関する画期的な概説書」（書評：沢田勲『匈奴－古代遊牧国家の興亡－』）『東方』195,　P. 20～23。
●林俊雄「車師古墓群から出土した黄金製品の比較研究」『シルクロード国際研究集会発表要旨集』,　P.25～30。
●林巳奈夫「圭について（下）」『泉屋博古館紀要』13,　P. 3～42。
●原宗子「写真紀行黄土高原とオルドス」『黄土高原とオルドス－中国西北路寧夏・陝北調査記－』(『日中文化研究』別冊 3),　P.1～8。
●樋口隆康「中国に於ける墳丘の出現」『東方学論集』東方学会創設 50 周年記念。 P. 1314～1302。
●廣川守「殷周青銅器研究の現状と課題－型式研究を中心に－」『考古学雑誌』82-4,　P. 125~139。
●馮永謙著・定森秀夫訳「遼代考古学における 30 年来の重要発見」『京都文化博物館研究紀要　朱雀』9,　P. 97～128。
●藤田高夫「長城の防衛システム－漢代辺境の長城守備隊－」『しにか』8-2,　P. 49～55。
●藤本強「細石器（VI）一細石器の果たした役割－」『東京大学考古学研究室研究紀要』15, P.137～156o
●方学鳳・呉満「渤海の“二四塊石遺址”について」『東アジア研究』15,　P. 67～82。
●彭曦著・荒牧博史訳「私の古代長城調査と研究について」『黄土高原とオルドス－中国西北路寧夏・陝北調査記－』(『日中文化研究』別冊 3),　P. 79～89。
●堀直「唐代以降の西域・トルファンの歴史」『季刊文化遺産』4,　P. 59～61。
●本田光子「湖北省荊州地区漆器の保存科学的調査」『福岡からアジアへ』5,　P. 48～63。
●本間寛之「麹氏高昌國の文書行政－主として辞をめぐって－」『史滴』19,　P. 1～13。
●馬得志「唐大命宮含元殿の建築様式とその源流」『東アジアの古代文化』93,　P. 75～84。
●間瀬収芳「楚文化の源流を陶鬲を通して探る」『古代文化』49-2,　P. 27～40。
●町田章「唐長安城の宮殿遺跡」『最新海外考古学事情』Ⅱアジア編（『月刊文化財発掘出土情報』185),　P. 65～74。
●町田章「姜女石遺跡群と牛河梁遺跡群」『立命館史学』18,　P. 1～21。
●町田隆吉「麹氏高昌国時代の高昌城－トゥルファン出土文書による部分的復元の試み－」『アジア史論集』,　P. 63～82。
●三船温尚・清水克明「中国古代青銅器の鋳造方法－その四，鋬・脚の鋳造実験及び考察－」『高岡短期大学紀要』9,　P. 73～101。
●宮本一夫「呉越の文化」『福岡からアジアへ』5,　P. 118～145。
●宮本一夫「長江中・下流域の新石器時代研究」『日本中国考古学会会報』7,　P.1～16。
●宮本一夫「シンポジウム“長江中・下流域における新石器時代の諸問題”」『日本中国考

古学会会報』7,　P. 124～125。
●村上恭通「遼寧式（東北系）銅剣の生成と変容」『先史学・考古学論究』Ⅱ,　P. 457～480。
●毛昭晰著・高浜侑子訳「浙江省における支石墓の形式及び朝鮮半島の支石墓との比較」『考古学ジャーナル』424,　P. 23～28。
●持井康孝「丁麟年とその収蔵殷周青銅器」『金沢大学文学部論集』（史学・考古学・地理学篇)17,　P. 71～94。
●籾山明「長城をめぐる攻防（1）秦・漢」『しにか』8-2,　P. 31～36。
●森達也「耀州俑の窯構造・工房・窯道具」『耀州窯－中国中原に華ひらいた名窯－』, P. 162～168。
●森部豊「唐魏博節度使何弘敬墓誌銘」『アジア史論集』,　P. 125～148。
●森部豊「ソグド人の東方植民に関する最新の考古学的成果」（書評：羅豊編著『固原南郊隋唐墓地』)『東方』 193,　P. 30～32。
●八波浩一「館蔵漆器考（1）－黒漆平脱彩画流雲文奩および小漆盒について－」『出光美術館研究紀要』3,　P. 41～81。
●山﨑淑子「定州静志寺・浄衆院舎利塔塔基地宮の壁画」『地下宮殿の遺宝－中国河北省定州北宋塔基出土文物展－』,　P. 38～49。
●山田花尾里・黄川田修「山東の殷周遺跡-1996 年山東省考古調査－」『明大アジア史論集』1,　P. 53～60。
●山田崇仁「浙川下寺春秋楚墓考－二号墓の被葬者とその時代－」『史林』80-4,　P. 67～93。
●山本忠尚「壁画と画像石と俑」『弥生時代の装身具』日本の美術 370,　P. 86～98。
●山本英史「J・Kフェアバンク著『中国の歴史－古代から現代まで』」『中国研究月報』588,　P. 38～39。
●湯浅邦弘「馬王堆帛書『十六経』の蚩尤像」『東方宗教』89,　P. 40～54。
●湯浅邦弘「中国古代の戦争と平和」『戦争と平和』,　p. 149～166。
●弓場紀知［揚州－サマラ　－晩唐の多彩袖陶器・白磁青花に関する一試考－］『出光美術館研究紀要』3,　P. 83～110。
●楊鴻鄭著・田中淡・福田美穂訳「唐長安大明宮含元殿の復元的研究－その建築形態にかんする試論－」『仏教芸術』233,　P. 111～144。
●羊毅勇「交河故城溝北 1 号台地の車師貴族墓の発掘における収穫」『シルクロード国際研究集会発表要旨集』,　P. 7～9。
●横張和子「トルファンの織物－錦をめぐる話－」『季刊文化遺産』4,　P. 48～54。
●吉岡真「現存唐代墓誌の全体像」『東洋における王朝権力解体過程の史的研究』40-49。
●吉開将人「近現代考古学」『しにか』8-11,　P. 126～127。
●吉田恵二「河西回廊の古代遺跡」『國學院大學考古学資料館紀要』14,　P. 245～272。

●吉田恵二「蘇哲氏講演“魏晋南北朝時代の壁画墓”」『国学院雑誌』98-10,　P. 58～59。
●吉田歓「隋唐長安宮城中枢部の成立過程」『古代文化』49-1,　P. 1～18。
●吉本道雅「楚公□鐘の周辺」『泉屋博古館紀要』13,　P. 75～90。
●李銀徳・孟強著　黄暁芬訳「徐州で出土した前漢前期の人物画像鏡について」『京都府埋蔵文化財情報』64-1,　P. 1～8。
●柳洪亮著・本間寛之「トルファンの文化遺産と溝西区墓地発掘の意義」『季刊文化遺産』4，P. 34～37。
●早稲田大学秦簡研究会「雲夢睡虎地秦墓竹簡“封診式”訳注初稿（6)」『史滴』第 18 号, P.76～84。
●渡辺芳郎「燃焼室構造から見た中国陶磁器焼成技術の交流」『人類史研究』9,　P. 67～79。
●渡辺芳郎「長江下流域の新石器時代墓地における頭位方向」『日本中国考古学会会報』7, p. 56～76。